慶應義塾

教育・研究・医療
環境整備事業のご報告

世界に開かれた学府を目指し、
学問の力で未来を築く人材を育てます。

ごあいさつ

2012年4月から目標総額140億円の募金を実施してまいりました「慶應義塾 教育・研究・医療 環境整備事業」は、このたび2018年3月末に慶應義塾大学病院新病院棟建設事業を成功のうちに終了いたしました。理工学部創立75年記念事業、未来創造塾事業を含めた3つの事業に対しまして、長きにわたりご協力、ご支援を賜りましたすべての皆さまに改めて心より御礼申し上げます。 慶應義塾は今後も財政基盤の強化とともに、それを礎とした教育・研究・医療の継続的な発展によって、学問の府としての社会貢献を果たしてまいります。社中の皆さまには引き続き慶應義塾へのご指導とご助力を賜りますようよろしくお願いいたします。

慶應義塾長
長谷山 彰

新病院棟建設事業のご報告

おかげをもちまして皆さまからのご支援により、2018年5月7日、慶應義塾大学病院1号館（新病院棟）が開院しました。
地上10階、地下1階の免震構造をもつ災害に強い都市型地域医療拠点として、患者さん中心の安心安全な医療の提供を目指してまいります。新病院棟（1号館）を中核として病院開院100年の2020年に向けて、病院機能のさらなる充実を進めていきます。

▲ 新病院棟外観

新病院棟1号館のご紹介

Design Concept

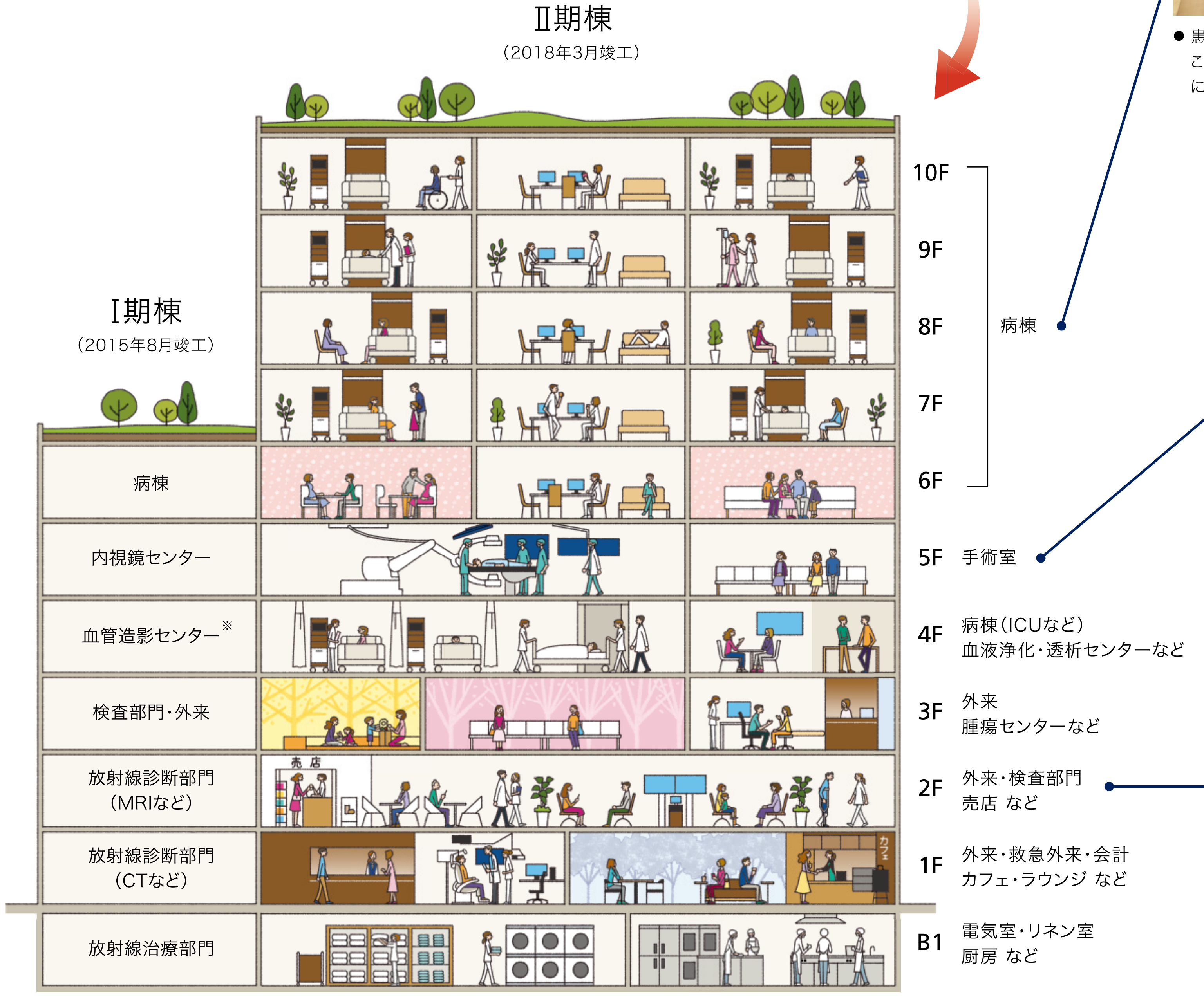
KEIO FOREST（慶應義塾の杜）

―周辺環境や既存の建物との調和を図り、
緑あふれ、潤いのある空間を創出―

神宮外苑や新宿御苑に囲まれた緑豊かな地域にある信濃町の環境を活かし、病院全体が杜（Forest）をイメージした空間になっています。院内各空間にみられる樹木や葉のモチーフ、柔らかな照明などには、病院での時間を心穏やかに過ごしていただき、安心して療養していただきたいという思いが込められています。

竣工式開催

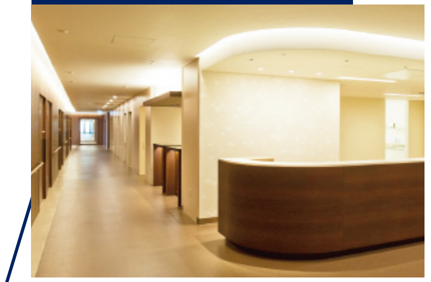
2018年4月21日、新病院棟の開院に先立ち行われた竣工式には、設計・施工業者を含む多くの関係者、来賓の方々に出席いただきました。



※ 2019年移転予定

▲ このイラストはフロア構成を基にしていますが、一部イメージとなっております。

6F～10F 病棟フロア



- 患者さんとスタッフの動線を区分することにより、多職種間での情報共有や協働による緊密な連携が可能な環境を実現
- 9階の女性専用病棟には専用ラウンジのほかウイッグや補正下着が試着できるサロンスペースを設置

5F 手術室

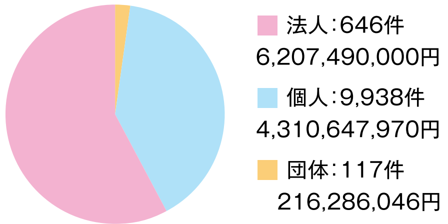
- ハイブリッド手術室をはじめ、最新の医療技術を導入し、ロボット支援手術にも対応
- 25の手術室を備える国内最大級の手術エリア

外来フロア

- 診療科の枠組みを越えたクラスターによるチーム医療を実践するため、関連診療科を集約して設置
- 集約されたブロック別に、診療前確認から料金計算までまとめて行える受付を配置し、患者さんにとって便利でわかりやすい外来を実現

新病院棟建設事業募金実績のご報告

募金概要	【目標額】100億円　【対象】個人・法人・団体（有志団体等） 【期間】2013年1月1日 から 2018年3月31日まで
募金申込件数・金額 （2018年3月31日受付終了）	【申込金額合計】 10,734,424,016円 【申込件数合計】 10,701件



ご寄付者の顕彰

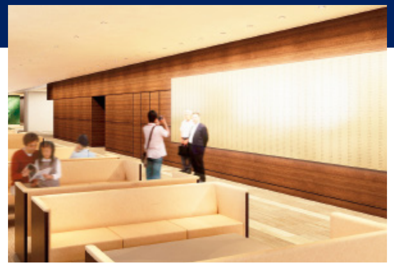
顕彰銘板

寄付累計金額が100万円以上の個人、法人、団体さまには顕彰銘板を作製し、ご芳名を掲げさせていただきます。

掲載場所（予定）：信濃町キャンパス 新病院棟1号館 1階 南側ラウンジ付近（1E付近）

芳名録

寄付を賜りました方々のご芳名を「芳名録」に記し、末永く慶應義塾の歴史に留めます。



▲ 顕彰銘板イメージ

新病院棟（1号館）開院については特設サイトもぜひご覧ください。http://www.hosp.keio.ac.jp/bldg1/

KEIO TOPICS

KEIO TOPICS 慶應義塾の取り組み Topics 01

慶應義塾の伝統、自由さ、多様な人材育成が感じられる各キャンパスや一貫教育校。
時代とともに国際性や多方面との連携などにも力を入れ、挑戦と変化を続ける姿を通して、
慶應義塾の今と未来にぜひこれからも関心を寄せていただければ幸いです。

▲ 上・完成予想図（外観）、下・完成予想図（内観）

日吉キャンパス　生まれ変わるシンボル 日吉記念館

体育施設としてだけではなく、式典や行事の会場としても親しまれてきた日吉記念館は、2020年3月の竣工に向けて、現在建て替え工事が行われています。「伝統を継承したキャンパスの新しい顔をつくる」「多彩なニーズに応える大空間をつくる」などをコンセプトに、建物規模は、地上5階地下1階建てに、収容人数も約6,500人から約1万人に増えることになります。

また、2020年には英国のオリンピック・パラリンピック代表チームの事前キャンプにも利用される予定です。

＼祝／ 10周年　薬学部・薬学研究科、SDM、KMD、慶應大阪シティキャンパスは開設から10年を迎えました

▲「慶應SDM開設10年記念式典」パネルディスカッションの様子

本年は多くの学部・研究科やキャンパスが開設から10年を数え、これまでの歩みや成果を振り返るとともに今後のビジョンを共有する節目を迎えました。

- **薬学部・薬学研究科**
  http://www.pha.keio.ac.jp/
- **システムデザイン・マネジメント研究科（SDM）**
  http://www.sdm.keio.ac.jp/
- **メディアデザイン研究科（KMD）**
  http://www.kmd.keio.ac.jp/ja/
- **慶應大阪シティキャンパス**
  http://www.korc.keio.ac.jp/

タウンキャンパスの一部をご紹介 ～横断的な研究、地域との協働の拠点として～

殿町タウンキャンパス　日本の課題解決を通じてより豊かな社会の創造へ

首都圏や羽田空港に近接する立地を活かした、「融合研究」「事業化支援」「人材育成」「基盤整備」における活発な交流とイノベーションは、新分野や新産業を創出する役割を担っています。

多様な学部・研究科を擁する慶應義塾の強みを活かし、超高齢社会の課題に対してヘルスケアやデータサイエンスなどの分野から、誰もが等しく、ウェルビーイングを高め、より魅力的で豊かな生活を実現させるための知見と製品・サービスを生み出します。

▲ セミナールームを利用した「夏の科学イベント2018」の様子

鶴岡タウンキャンパス　地方から新しい生命科学のパイオニアを目指す

2001年に山形県鶴岡市に設置された先端生命科学研究所を中心とした活動で新しい研究を展開し、数々のベンチャー企業も誕生しています。慶應義塾大学の大学生、大学院生向けの教育プログラムのほかに、地元の高校生が教員・学生と研究を行う「高校生研究助手・特別研究生」の仕組み、全国の高校生が生命科学に関する自由研究の成果発表やディスカッション等を行う「高校生バイオサミット」の開催など独自の取り組みを特徴とするキャンパスです。

慶應義塾一貫教育校派遣留学制度 ～ 世界の優れた人材と切磋琢磨し成長する ～

慶應義塾の一貫教育校5校（高校段階）から各校の枠を越えて選抜した生徒を米国・英国の名門ボーディングスクール（寄宿制学校）に約1年間派遣するプログラムです。生徒の経済的負担や進級の問題に配慮し、留学先の学費等を奨学金として給付し、留学後は原則留年せずに進級・卒業できます。2017年度は5名の生徒が留学しました。
世界中から集まる優れた人材とともに受ける質の高い教育や課外活動、様々な挑戦を乗り越えて得た経験や成長は、帰国後には同級生にとって良い刺激となり、慶應義塾が目指すグローバル人材育成につながることが期待されています。

▲ Phillips Academy Andover

▲ Winchester College

留学先

米国
- Phillips Academy Andover
- Phillips Exeter Academy
- Deerfield Academy
- The Taft School
- The Hotchkiss School
- Choate Rosemary Hall

英国
- Shrewsbury School
- Winchester College

慶應義塾一貫教育校派遣留学制度サイト　**http://www.cies.keio.ac.jp/**

KEIO TOPICS 慶應義塾の取り組み Topics 02

基金の拡充

福澤基金・小泉基金のご紹介

～引き続き教育・研究の一層の向上を目指して～

▲ 専用Webページでは動画配信予定

近年、慶應義塾は大規模な周年事業などを通じて、施設の整備・更新を中心に教育・研究・医療の向上を進めてまいりました。一方で、教育研究機関としての義塾の今後のあるべき姿を考えるとき、次世代を担う研究者や学生を育む多様なプログラムの充実もまた不可欠です。

こうしたハードとソフトの維持・発展を支えるための安定的・継続的な基盤のひとつとして、基金に代表される自己資金を十分に有することは、自由かつ独自性あふれる活動を実現するための大きな推進力になり得ると考えています。「福澤諭吉記念慶應義塾学事振興基金」（通称：福澤基金）「小泉信三記念慶應義塾学事振興基金」（通称：小泉基金）－この両基金は数ある基金の中でも、今日に至るまでの慶應義塾の教育研究の発展に大きな役割を果たしてきました。歴史ある福澤基金・小泉基金の積極的な運用により、慶應義塾は教育研究活動のさらなる拡大・進化を目指していきます。

【詳細は同封の趣意書「人を育てる 義塾を支える（ご支援のお願い）」または専用Webページをご覧ください】

福澤基金・小泉基金の専用Webページはこちらから
http://www.kikin.keio.ac.jp/ffkf/

医学・医療の充実

信濃町キャンパス整備資金

～さらに魅力的なキャンパスづくりに向けて～

信濃町キャンパスでは、慶應義塾大学病院新病院棟建設事業募金終了後も、引き続き2020年まで計画している「新病院棟の機能充実及び既存病院棟の機能改善」ならびに「医療人材育成に向けた機会の充実と環境の整備」を推進していくための使途指定寄付金をお受け入れさせていただきます。ご支援にご関心のある方は下記お問い合わせ先までお気軽にご連絡ください。

【お問い合わせ先】　慶應義塾大学信濃町キャンパス・大学病院　秘書課
〒160-8582　東京都新宿区信濃町35番地　TEL：03-5363-3430 【受付時間：平日9：00～16：30】

慶應義塾へのご支援をお考えの皆さまへ

使途を指定したご寄付や基金へのご厚志は、教育・研究・医療活動のさらなる充実において大きな力になっています。
ご寄付による使途の一例：福澤基金、小泉基金、塾生への奨学金、一貫教育校への教育支援など

■ 個人でのご寄付のお申込み

銀行・郵便局（ゆうちょ銀行）

慶應義塾所定の払込用紙をお使いのうえ、金融機関（銀行または郵便局）の各窓口からお振込みください。ATM、ネットバンキングでのお振込みは、ご寄付者の特定ができない場合がございますのでご遠慮ください。お手元に振込用紙等がない場合には慶應義塾基金室までご請求ください。

インターネット募金

インターネットからも一部の募金については募金名称（略称）を指定のうえ、直接ご寄付をお申込みいただけます。詳しくは慶應義塾基金室のWebサイトをご覧ください。
（http://www.kikin.keio.ac.jp/）

こちらのバナーが目印です

※11月中旬以降にお申込みをいただく場合は、
翌年分の確定申告の対象になります。
※海外からのご寄付にもご利用ください。

よくあるご質問

Q 寄付金控除はありますか?

A 慶應義塾へのご寄付は、税法上の優遇措置（寄付金控除）を受けることができます。所得税の「所得控除」または「税額控除」のいずれかを選択いただけます。ただし、教育振興資金など一部の寄付を除き、入学した年内の寄付金は、「学校の入学に係る寄付金」とみなされ、寄付金控除の対象から除外されます。詳細につきましては本ご報告の裏面のほか、各募金の趣意書や基金室Webサイト（http://www.kikin.keio.ac.jp/）をご確認ください。

Q インターネット募金で寄付を申込みましたが、領収証はいつ頃届きますか?

A 領収証などは、各カード会社・収納代行業者から慶應義塾へ入金後、お送りいたします。領収証の日付はお申込み受付日ではなく、慶應義塾入金日となりますのでご注意ください。お申込みに際しましては、Webサイトにて「お申込みのご注意」をご確認ください。

※公職選挙法などの法令により寄付が禁止されている方は、寄付募集の対象外とさせていただきます。

■ 法人・団体（三田会等）でのご寄付のお申込み

お申込み手続きの詳細につきましては、別途ご案内をお送りいたします。
お手数ですが、慶應義塾基金室までお問い合わせください。
※法人さまからのご寄付は、法人税法上、優遇措置の対象となります。

裏面の寄付金控除のご案内もご覧ください。

お問い合わせ先　慶應義塾基金室

〒108-8345 東京都港区三田2-15-45
TEL：03-5427-1898（平日9:00～17:00） FAX：03-5427-1546
E-mail：kikin-box@adst.keio.ac.jp　Webサイト　http://www.kikin.keio.ac.jp/

寄付金控除のご案内

慶應義塾へのご寄付は、税法上の優遇措置（寄付金控除）を受けることができます。*1

*1：入学した年内の寄付金（入学願書受付の開始日から入学が予定される年の年末までの期間内に納入したもの）につきましては、「学校の入学に係る寄付金」とみなされ、寄付金控除の対象から除外されます。但し、教育振興資金など一部の寄付については寄付金控除の対象となります。

個人でのご寄付

慶應義塾へのご寄付は、**所得税の「所得控除」または「税額控除」**のいずれかを選択いただけます。さらに、住民税においても、条例で慶應義塾を寄付金税額控除の対象法人として指定している地域にお住まいの方は、**住民税の「税額控除」**の対象になります。

寄付金控除の流れ （所得税の税額控除を選択した場合）

合計24,000円の減税（最大約50%の減税効果）

＝

1 所得税の寄付金控除「税額控除」を選択
(50,000円 − 2,000円) × 40% ＝ **19,200円**

＋

2 個人住民税の寄付金税額控除
都道府県民税 ＋ 市区町村税 ＝ **4,800円**

1 所得税の寄付金控除

（年間の寄付金合計額*2－2,000円）×40%

＝

寄付金控除額*3（所得税額から控除）

*2：年間の寄付金合計額が年間総所得金額等の40%を超える場合は、40%に相当する額が限度となります。
*3：寄付金控除額は、所得税額の25%が限度となります。

税額控除は税率に関係なく所得税額から直接控除するため、所得控除と比較してほとんどのご寄付の場合、減税効果が大きくなります。なお、所得税率が高い場合は所得控除を選択した方が有利になる場合があります。確定申告時に税額控除か所得控除のどちらかを寄付者自身が選択して所得税の控除を受けることができます。

2 個人住民税の寄付金税額控除

※地方自治体の条例により指定された場合に限ります。

（寄付金額*4－2,000円）×控除率*5 ＝ **住民税の控除額**

*4：年間総所得金額等の30%が限度となります。
*5：控除率は都道府県、市区町村合わせて最大10%となります。

慶應義塾を「寄付金税額控除対象法人」として、現在条例で指定している地方自治体

条例指定にあたり、自治体内に慶應義塾の代表所在地又は設置する学校を有することが主な要件とされています。

〔都道府県〕東京都、神奈川県*6、埼玉県、山形県
〔市区町村〕港区、武蔵野市、狛江市、檜原村、
横浜市*7、平塚市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、大磯町、二宮町、中井町、松田町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町
（以上、神奈川県外における施設の建設等の費用に充てるための寄付金を除く）
川崎市、相模原市、鎌倉市、小田原市、秦野市、厚木市、海老名市、山北町、さいたま市、志木市、蕨市、戸田市、桶川市、鴻巣市、和光市、朝霞市、新座市、富士見市、三芳町、川島町、日高市、越生町、滑川町、嵐山町、ときがわ町、小川町、八潮市、吉川市、松伏町、杉戸町、宮代町、白岡市、蓮田市、幸手市、久喜市、加須市、羽生市、行田市、熊谷市、深谷市、美里町、寄居町、
山形県内の市町村すべて、
大阪市

*6：神奈川県外における施設の建設等の費用に充てるための寄付金を除く。
*7：横浜市外における施設の建設等の費用に充てるための寄付金を除く。

法人でのご寄付

■「受配者指定寄付金制度」寄付金全額が損金に算入できます。
■「特定公益増進法人に対する寄付金制度」一般の寄付金の損金算入限度額と別枠で損金算入できます。

◎ 税額控除についての詳細は基金室Webサイトの「税制上の優遇措置」をご覧ください。http://www.kikin.keio.ac.jp/
◎ 確定申告書作成等の詳細については、国税庁HP又はお住まいの地域の税務署でご確認ください。国税庁HP https://www.nta.go.jp/

2018.11